

新型コロナウイルスが収束する前に台風による災害が起きたら…

★前ページからのつづき～

前ページでお伝えしたよう、コロナウイルスによる影響がある中で屋根工事屋としてお伝えしたいのは、

まずは今のうちに大型台風がきてもある程度耐えられるような建物にしておくことです。



先日より九州や岐阜県等で豪雨による河川の氾濫にて避難勧告・避難指示が発令されており、そのような水害では

屋根どころか建物、それ以上に命の危険があるため、コロナウイルスを恐れず避難をするべきだと思います。

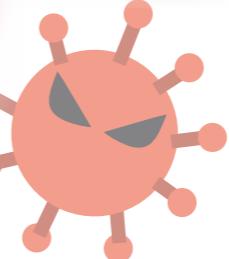
ただそのような水害ではないケースとして、例えば【夜中台風で瓦が飛ばされて雨漏りをし、朝を迎えて

業者に助けを求めたら、すでに被害に合われた家が沢山あり順番待ちですぐ見てもらえない】

このようなことになったら私たち屋根工事屋も順番にお伺いするしかなく、

見に行くことすら随分日にちが経ってしまいます。他人事に思えるかもしれません、

実は一昨年の東海地区を襲った台風がこのような状況を招きました。▼



弊社にお問い合わせいただいた方だけでも
写真のように被害に合われた方が数百件にも及び
当時は半年・1年待っていただいたお客様もみえました。
屋根の補強を事前にしておけば被害に合わなくて済んだ
お宅も多くあったのではないかと感じました。

一昨年の台風の被害状況・慌ただしさ…そして今年はコロナウイルスの影響…。以上のことふまえて、

「3密を避けるために、そもそも避難所に行かなくて済むための方法として、

耐風性・耐震性のある屋根を一度ご検討されてはいかがでしょうか。

昔の瓦より今の瓦は進化しています！

釘穴：昔は土葺きで
現在は瓦1枚ずつ
釘固定が主流です



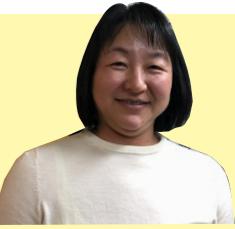
水返し：横風や大雨による
水の浸入を防止します

防災機能：ツメがかみ合うことで
瓦の浮き上がりやズレ防止になります

その他ガイドライン工法に準じた
施工方法や、メーカー様と共同開発した
商品もありますので
お気軽にお問合せ下さいませ(^^)



社員紹介



名前：小出 さつき

好きな食べ物：パン

趣味：テニス

入社して約1年4ヶ月の事務員さん。
“元巫女さん”という異色の経歴の
持ち主であります！
いつも笑顔で仕事に取り組んで
頑張っています！

Facebook・Youtube
ブログ・ホームページ

更新します！

ぜひ、ご覧に
ホームぺージ
QRコード▶
なって下さい！



LINE

LINEアプリのお友達追加ページより
お友達登録をお願いします！
(LINEアプリ内のQRコードから読み取ってください)

